

外来医長就任のご挨拶

先々代の稲木先生、先代の若林先生の後任として、2023年4月から外来医長に就任いたしました、森博史と申します。

最初に昨今の核医学診療について簡単に触れさせていただきます。2021年～2022年にかけてルタテラ®を用いた Lu-177DOTATATE 治療、ライアットを用いた I-131MIBG 治療が本邦で保険診療可能となり、県内外を問わず多くの問い合わせや治療依頼をいただいております。また、前立腺癌の核医学治療である Lu-177PSMA 治療の国内治験を当院泌尿器科や先端医療開発センター等と協力して行っており、将来的に保険診療が可能となるように医局員一同で頑張っています。その他、米国ではアルツハイマー型認知症の治療薬が FDA で迅速承認され、認知症の核医学検査の1つであるアミロイド PET 検査の機運も高まっています。

このような背景で今後も核医学診療はますます盛り上がっていくとともに、仕事量増加のため患者様一人一人に割ける時間が少なくなってしまうというジレンマもあります。一方で、核医学検査や治療は一般の方にはあまり馴染みがないため、時間をかけた丁寧な説明が必要です。患者様に十分な説明を行い、核医学治療や検査を円滑に提供できるように当科外来の環境を整えることが外来医長の役割と考えています。微力ではございますが精進してまいりたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。